

平成30年度 第3回精華町まちづくり基本構想策定懇話会

日 時	平成31年3月6日(水) 10時00分～12時00分		
場 所	精華町役場 1階 101 会議室		
出席者	宗田委員 (座長) 高鍋委員 [オブザーバー] 近畿中部防衛局	多々納副座長 (副座長) 井原委員 井上課長補佐	福味委員 山戸主事
傍聴人	なし		
事務局	竹島 学校教育課長、上原 学校教育課係長		
事務支援	中日本建設コンサルタント(株) 佐々木、岩脇、都築		
内 容	<p>■ 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 精華町まちづくり基本構想に関する提言書 (案) について 2. 精華町まちづくり基本構想 (案) について 3. 意見交換 4. その他 		

■ 議論

宗田座長	<p>皆さん、おはようございます。</p> <p>現在のまちづくりは大きな転換にある。人口が増加傾向にある時は、何をしても上手くいく。企業も同じで、業績が安定している時は、トップが優秀であるなしにかかわらず営業性は伸びていく。ところが、一旦、人口が減少局面に入り、市場が縮小してくると、企業が生き残っていくためには、従来のやり方では全くダメで、それと同じことが、この学研地域にも言える。学研都市でも状況が変化してきており、製造業中心、技術中心で進むのか、文化を中心とするのかでも、まちづくりが変わってくる。</p> <p>また、阪神淡路大震災から東日本大震災に至る未曾有の災害、この災害に対する防災の技術も変わってきている。目覚しい技術革新、社会の認識、一人ひとりの国民の意識の改革が出てきており、これにどう対応していくかも大きな課題である。</p> <p>これらを含めて、今回のまちづくり基本構想では、国や開発事業者に頼っていれば何とかかなっていたこれまでのまちづくりを改め、町が自分で考える必要がある。明らかに成長拡大の時期は終わっており、このまま何もしないしていると、この間に増えた人達は一気にいなくなる。</p> <p>これまで20年程の人口減少の兆しが起こっている中で分かってきたこととして、新しくできたまちから消えていく傾向がある。30年前にできたニュータウンでまず空き家が増えている。戦後の復興期にできたまちで人が徐々に減って、戦前にできた田園都市がその次という状況である。このような状況を考えると、精華町においても消えていくまちが出てくる可能性がある。</p>
------	--

	<p>その中で、給食センターと打越台についてはもちろん重要であるが、それだけではなく、急速に成長してきた精華町というまちをどうするのかということについても議論していきたいと思う。</p>
事務局 (上原氏)	<p><資料1「提言書(案)」説明> <資料2「まちづくり基本構想(案)」説明></p>
宗田座長	<p>提言書(案)の3ページに精華町の各地域の地域づくりの目標の図があるが、精華台小学校区・東光小学校区では、「学研都市の中心地としてのまちづくり」、「緑豊かな生駒精華線(精華大通り線)と調和した風格のあるまちづくり」、「文化学術研究機能を活かした交流と活力のあるまちづくり」とあり、これは比較的できているのではないと思う。</p> <p>一方で、基本構想の対象地域である川西小学校区では、「学研都市の玄関口にふさわしい賑わいと活気に満ちたまちの拠点づくり」、「利便性と快適性の優れた住みやすいまちづくり」、「美しい景観と豊かな歴史文化を活かしたまちづくり」とあるが、これが上手く進んでいないように思う。この川西小学校区の玄関口に、今回の防災食育センターの立地を検討しているが、これを作ったところで一足飛びにコミュニティが活性化する訳ではなく、それ以外でも玄関口として必要な機能を作っていかななくてはならない。</p> <p>駅前広場の整備は一定できた。また、住宅地も整備され、マンションも建った。しかし、利便性や快適性はどうか。この地域の目標に掲げる、美しい景観と豊かな歴史文化を活かすということには至っておらず、何とか玄関口として活かさなければならない。</p> <p>精華町の由来を調べてみたところ、精華町が川西村であったころ、高等小学校を作る際にどういう名前にするかという話になり、「精華」高等小学校とした。その「精華」というのは教育勅語の「国体の精華」を由来としており、心を一つにして美しい国をつくるという一節からとっており、その跡地に今の精華中学校が建っている。今回のまちづくりの対象地域である祝園一帯は、日本で一番美しい場所であるべきという先人たちの思いが込められているのではないか。このような歴史ある精華中学校の横に、どのような施設を作るか。併せて、祝園駅周辺の整備についても考える必要がある。そうすれば、精華町には旧住民、新住民、学研地域の研究者や自衛隊の方が多く住んでいるが、その方たちが集まる場所として、祝園一帯の発展につながるのではないと思う。</p> <p>けいはんなプラザ周辺が世界中の研究者の人が集まる場所だとすると、祝園は精華町、ひいては京都の南部地域に住む人たちの拠点にしたい。まちづくりの基本コンセプトとして、このような考え方が必要だと思う。少し長くなったが、祝園のまちをつくっていく課題としてお話をさせていただいた。</p>
山本委員	<p>具体的な施設整備の部分で、中学校食育センターと打越台グラウンドの再整備が、最終的な姿であり、両施設の機能であるが、施設の整備方針の中では、平常時と災害時の機能が併記されており、名前としては防災食育センターと防災受援施設となっている。</p> <p>ただ、普通に考えると、平常時の使い方がメインであることから、祝園駅前をどうしていきたいとか、コミュニティを活性化していくとか、そのような内容に活かすことのできるネーミングにして、災害時には、クライシスマネジメントとしてこのような機能もあるとした方が、論理的に説明できるのではないと思う。</p>

宗田座長	<p>その部分については、国の補助事業であることから、防災食育センターを作るということで事業計画が成り立っていると思う。</p> <p>学校給食基本構想に書いてあるが、食育を考える際には、地産地消の農の教育をどうするかということがある。精華町にはまだまだ農地が多く残っており、そこのつながりをどうするかということも重要である。</p> <p>人口減少の中でまちが生き残っていくためには、定住人口を維持していく必要がある。ニュータウンに家を買った人は、次の代は住まず、その多くは親元から離れていく。一部、都心へのアクセスが良いところでは、親との同居はなくても周辺のマンション等に住むことはあるが、精華町は大阪から見ると、アクセス面で決して有利なところではなく、選んでもらうためには別の魅力が必要となる。</p> <p>そういうことを考えた際に、精華町には農がある。趣味で農業をやりだして、定年退職した後、つながりが出来て住み続けるようなこともある。</p> <p>また、子育てをしながら働くということ、ワークライフバランスを取ることで、一貫した定住、子育てができるよう支援をつくる。給食センターと農業を挟んで定住をどう進めるかも重要である。</p>
山本委員	<p>防災食育センターについては、具体的なイメージは沸くが、防災受援施設のイメージはどうか。</p>
宗田座長	<p>平常時の打越台に関しては、皆さんにも意見を出していただければと思う。基本的には交流人口を増やしたい施設だと思う。地域住民に使ってもらうのも良いが、学研地域で働いている方に運動施設として有効に使ってもらったり、近隣の同志社大学や奈良先端科学技術大学院大学の学生などにも使ってもらったり、外国人とスポーツ大会などをおして交流する場として利用してもらうのも良いと思う。運動施設が足りないわけではないが、近くに精華台もあるので、一番近いスポーツ施設として打越台が使われれば良いと思う。ニーズに応じてテニスやグランドゴルフなどを取り入れるなど考えてみてはどうか。</p>
井原委員	<p>防災ではなく、まちづくりの話になるが、人口を増やさないとまち将来はないと思う。学研都市、精華町の課題はこれから人が減っていく中で、どうやって人を増やすのか。</p> <p>祝園駅周辺をアクセスの中心として考えるのであれば、高層マンションを誘致するなどはどうか。若い人は最近マンションを買う傾向にある。そうなればお店も増え、民間の投資も増えてきて、自然と街並みができる。街並みを作ってから人を引っ張り込むのではなく、人を引っ張り込んだあと、街並みを整備する方法が良いのではないか。</p> <p>防災の部分では、打越台で検討している内容が従来の延長線上の活用という感じがする。思い切ってドームをつくるのはどうか。グラウンドでは雨が降ったら何もできない。会社で懇親をする際、雨天を考えると中止や延期など面倒が多いが、ドームであればそれらを気にすることなく便利に使える。また、防災面でも避難所などとして多くの方が避難できる。思い切った投資を行うことで、次に民間の投資を呼び込むことも一つの方法であると思う。</p>
宗田座長	<p>マンションに関しては、大都市圏でもどうやって人を集めるかが課題となっている。</p>

	<p>昔は地価が安い、高さ規制の緩和などで、ベイエリアの開発が進んできたが、今はそれが全く通用しない。まちづくりがしっかりしている、景色・景観が良い、周辺の文化的なポイントがあるなど、地元の自治体の手腕が問われている。</p> <p>いずれにしても、デベロッパーを呼び込むためには、昔のような規制緩和だけでは難しく、相当の工夫が必要である。</p>
井原委員	<p>特に情報系の会社が景色や景観の良い場所を事務所的に使うのは魅力があると思う。IT企業の方はパソコンと向き合うばかりで、精神的にまいってくることが多いと聞く。景色を見ながらソフト開発をするなど、ほっとできる環境が良いのではないか。</p> <p>精華町は関西では地価が安い方である。昔はアクセスが悪いと言われてきたが、その点は大きく変わってきている。変わりつつあるときに付加価値を付けることができれば、人を呼び込む大きなチャンスとなる。</p>
宗田座長	<p>精華町の良いところは、学研進出企業にIT系もあるところで、そういった企業から独立してオフィスを構えるとき、タワーマンションを借りて外を見ながら仕事をするということが考えられる。</p>
井原委員	<p>けいはんなでは、ラボ棟がそういう位置づけであるが、鉄道アクセスなどの利便性は低く、駅前の利便性が高い場所にオフィスがあれば皆そちらへ移ってくると思う。</p> <p>もう一つは、周囲をあまり開発させず、田んぼと田舎の住宅地、景色の良い木津川をそのまま残しながら、空き家に対してはサテライトオフィスとして利用する。総合的に人を呼び込むような投資を考えていけば良いのではないか。</p>
宗田座長	<p>その際には、市街化区域と調整区域の線引きをしっかりする必要がある。都市計画が弱いとバラバラな街並みになってしまうが、上手くいけばIT企業が立地する都心部のようなまちになる。</p> <p>その足元に精華中学校があつて、給食センターがあつて、ちょっとした緑地があつて、田園風景が広がっていくようなイメージになれば良い。</p>
高鍋委員	<p>光台や桜ヶ丘といった新興住宅地では高齢化が進みつつあり、若い人が減少しているが、お隣同士で話す機会はマンションよりはある。マンションの立地が進むことが良いとは思えない。</p> <p>安全・安心を考えると、虐待や詐欺などの問題が次々と起こっているが、大人数で暮らすことやお隣とのコミュニケーションがあれば防げることは多いと思う。その意味で三世代が暮らすことは大切で、これ以上の核家族化を防いでいく必要がある。</p> <p>精華町は全体で見ると交通アクセスがとても向上してきており、京都、大阪、神戸まで通勤地として考えられる場所になってきている。住宅地に住んでいた子どもたちが大人になったときに戻って来る方法を考えるべきだと思う。</p> <p>今の若いお母さんの悩みは保育児の待機児童問題もあるが、アレルギーを持った子どもが増えたのも現実としてあり、安心して子育てができるという事では、待機児童をなくすという事、食のアレルギー対策の場所をつくるなど、そのような所に力を入れれば若い人</p>

	<p>も住みやすいまちになると思う。</p> <p>災害時の炊き出し人数が足りないとのことであるが、今は普通食が食べられない人がかなり多いと思う。災害時には、備蓄物資や支援物資が食べられないことも考えられる。そうした方への対策をきちんと行い、精華町が安全・安心であるということの人々が感じられれば、精華町を永住地として選択するという可能性が十分あると思う。</p> <p>どこも同じような景観にしていく必要はないと思うし、高層マンションがあっても良いとは思いますが、やはり多くは一般の住宅で、お隣との挨拶や会話でみんなが繋がっていく心地良さを考えていった方がまちづくりとしては良いと思う。</p> <p>また、何かあったときに自分に何が出来るかを考える人間を育てるという事もまちづくりの一つである。ハコモノでだけではなく、ひとつづくりやシステムなどを見直す方がより良いまちづくりになるのではと思う。</p>
宗田座長	<p>今の意見については理解できるが、現在、核家族化だけでなく、一人暮らしの割合は全国的にもかなり増加してきており、30%台まで進んできている。ここまで進んできている社会のシステムを変えるのは非常に難しい。</p>
多々納委員	<p>一人世帯が全体の過半数を占める将来があって、祝園の駅前が多少変わったところで、子どもが巣立ったあと一人で住むためのまちとして機能するかは少し疑問に思う。イメージとしては、今あるようなファミリーになったとき、いつかあそこに住みたいと思われるようなまちづくりを目指す必要がある。</p> <p>また、今は祝園駅周辺に関する議論が中心に行われているが、今回のまちづくり構想において、その部分をどこまで考える必要があるのか、疑問である。まちづくりとして、南部と北部に一体として上手い関係性があり、ここにいることが良いと思える場所にするために今の議論があるので、定住という観点は少し大きすぎるのではないか。</p> <p>安全・安心という観点から見たときに、大きなテーマの中を少しずつ埋めていく作業として今回の構想に位置づける。タイトルにまちづくり基本構想とあるが、ある種限定していても、ある程度の答えを一度出して、その上でもう少し大きな議論が可能であるならば、それについても考えていく。その方が現実的ではないか。</p>
山本委員	<p>粕田の再開発が行われているので、祝園の駅前にも資金を出し、バス乗り場ができたらと思う。どうしても祝園駅前と粕田の再開発とを考えると、現在進行中であるのは粕田の再開発で、その流れがあるため、今回のまちづくり構想の中心もそちらになっていると思う。</p> <p>しかし、精華町としての基本構想やまちづくりなど、大きく俯瞰するならば、やはり祝園駅前の徹底的な見直しの方が優先度は高い気がする。</p> <p>精華町というまちをどんなコンセプトでどうしたいのか、ありたい姿をもう一度書いた方が良い。</p>
宗田座長	<p>懇話会のタイトルが精華町まちづくり基本構想とあるが、実際に検討対象となるのが防災食育センターと打越台の運動施設。今年度のまちづくり基本構想では、2つの施設をまちづくりとどう関連付けるかがカギである。</p>

	<p>まず、確認できるのは、祝園駅前の整備まではいかなくとも、祝園周辺が玄関口、まちの中心になる。そのとき、防災はいいが、食育センターとなった場合、給食センターとは違うものをつくらなければいけないと思う。中学校に給食を出すという施設をつくっておくのではなく、もう少しまち的な、玄関口的な、歴史的な、もう少しまちづくり基本構想に係るような特徴をこの防災食育センターにどこまで盛り込むかを考える必要がある。</p>
<p>多々納委員</p>	<p>あの敷地に給食センターはわかるが、それ以上の機能をあの場所にどう持たせるか。地域に開放された家庭科室のようなものは既に隣の中学校に存在しており、コミュニティのための施設が存在している。</p> <p>一方で、防災面で考えると、通常の給食センターが災害時に炊き出しするという発想はない。精華中学校には災害が起きたときに、どんな人が、どうやって集まって、どのような役割を果たすか。そこのオペレーションはどうやるのかを考えたり、災害時の住民の拠点などを考えたりすると、実は意外といい場所にある。防災の機能をもつ給食センター、つまり防災食育センターという発想は十分良いと思う。</p> <p>打越台は、先ほどのドームは良いアイデアだと思う。受援施設はスペースが非常に重要で、もう一方で、緊急支援物資の受け入れ拠点と考えると屋根が必須となる。</p> <p>ドーム等の大きな運動関連の施設がしてくれるのであれば、平常時の利用についても期待でき、非常にこの地域にとって意味のあることだと思う。また、防災のためには水と電気が重要だが、打越台には本来、ごみ処理施設があったので、ガスタービンを使えばコージェネレーションもでき、防災面で強い施設を作ることにも可能かもしれない。</p> <p>だが今はグラウンドだけあるようにみえる。そのイメージを深めていく必要があるので、地域がどのように使いたいをもっと出さないといけない。そのような具体的な案が固まらない中で議論することは難しい面がある。</p>
<p>宗田座長</p>	<p>防災食育センターが果たすべき役割として一番重要なのが、帰宅難民、働いている人、マンション住民などを支援する多面的な防災拠点としての機能を給食センターにどう付加するか。さらにその先に、コミュニティの拠点となる玄関口としての役割がある。今後外国人も増え、一人暮らしが増えていくという話が出たが、そういう人たちは集まる場所を切実に必要としている。</p> <p>一人暮らしの増えたアメリカの西海岸や東海岸で、郊外に住んでいる一人暮らしの人は必ず駅前に集まって、そこで食事や交流をする。19世紀のパリに遡ると、当時世界で一番一人暮らしが多かったのがパリだが、パリではカフェが発展した。日常的にカフェで友達や誰かと食事する環境があった。そういう集う場所が必要ではないかと思う。今の日本の都心でもこういう機能、未来のコミュニティが必要となってきた。</p> <p>給食センターというのは簡単だが、中学校で給食をつくるのは子どもが多い時代、働くお母さんが増えた時代の過渡期的なもの。変化する給食センターのあり方をパースペクティブに見たとき、ここをどう捉えるかが重要であると思う。</p>
<p>多々納委員</p>	<p>その際、防災食育センターは、食事をつくって配食を行う場所なのか、その場で食事する場なのか。もし、食事をする場であるならば、本当に中学校の中でいいのか。地域の中の文化的に良いのか。それが教育の一環で高校生がつくる場所ならいいかもしれないが、</p>

	集う場所という観点とは違うのではないか。
宗田委員	集う場所は、まちの中心である駅側にある方が良いと思っている。精華中学校の一階については、地域のコミュニティ関係として活用されているが、まち全体の集う場所となるとそうではないか。
井原委員	給食センターこそ打越台でトータル的につくるのはどうか。中学校の隣接地では、一般開放の食事場所や飲み屋的なものは難しいが、打越台の中に給食センター機能を持つものをつくり、そこに人が集まるようにすれば良いのではないか。 4700食をカバーできるものをつくって、それを給食と色んなイベントの提供する食事の中に活用したらどうか。必ずしも中学校の隣接地である必要はないと思う。
福味委員	精華中学校の隣接地であるので、そこに近いことはもちろん、まちの中心にあり、幹線道路にも近いことから、他の中学校への配送等を考えると利便性が高い場所であると思う。
高鍋委員	給食を行う場合には各学校に給食室を作る方法もあるが、少子化や予算などの課題があり、給食センターによる実施となったと記憶している。中学校給食を中学校の隣接地で作るのは適当であると思う。
事務局	町の方針として、精華中学校に3校分の給食センターを建てるという方針は決定している。基本的にはそれを前提に議論をしていただきたい。また、ゴミ焼却場の跡地に給食の施設を建てることはイメージ的に良くないと思われる。
宗田座長	提言書の4ページの初めに、中学校給食の導入とあるが、学校給食を活かしたまちづくりとは何か。
事務局	食育や防災の拠点の位置づけもあるという事を言っている。 小学校では給食を実施しており、栄養教諭がいて、給食を実施する中で地産地消の話、食育に関する取り組みを行っている。 中学校については、現在は弁当のため、栄養教諭もおらず、学校教育の場面で十分な食育ができていない。中学校給食が実施の際には、中学校でも食育を充実し、それを家庭や地域にも発信することで、まちづくりにつなげていきたいと考えている。
宗田座長	食育を中学校でも行うというのは理解できる。ただ、食育とまちづくりというのは結びつけることは難しいのではないか。 防災面において、給食施設が防災に踏み込むのはとても良いと思う。
多々納委員	先ほど座長がおっしゃった、変化するパースペクティブ（見通し）を持っている給食、食事の供給主体、施設というのはまさにまちづくりと関連している。この地域では高齢者の一人暮らし世帯がこの給食センターから配食サービスが受けられるかもしれない。た

	<p>だ、これを公共が行う必要があるかは考える必要がある。そういう視点が含まれているのであれば、まちづくりは関連していると言えるのではないか。</p>
宗田座長	<p>今、多々納先生が言われた内容を構想に盛り込むことができれば、まちづくりにも関わってくると思う。</p> <p>次に、打越台グラウンドの環境センター跡地について、学研に進出する企業の人に使ってもらえるのか、町外から利用者と呼べるようなものを持っているのか。住民以外にも利用してもらえる施設とする必要がある。企業の人、町外の人に使ってもらうためにドーム型の屋根を作るのは良いと思う。</p>
多々納委員	<p>確かにドームも良いが、一時的なオープンスペースは必要。自衛隊のような大きな部隊を受け入れる場合には非常にスペースが重要となってくる。</p> <p>受援施設として使うのであれば、駐車場に入る道路を広くする必要がある。また、駐車場のキャパも足りていない。</p>
山本委員	<p>けいはんなの企業や町外の人たちが活用するならば、南側に行く道路のアクセスを改善することが大事だと思う。</p>
井原委員	<p>今の形を活かして何かつくるのであれば、プラスアルファで取り入れた方がいいと思う。企業側の立場から見ると、どこかで職場のメンバーで集まって何かして、食事をして、帰りはアクセスが良いバスなどで帰る、という場所が欲しい。</p> <p>バーベキューなどは懇親を図るのにとっても良いツールであるが、けいはんな周辺ではやる場所がないので、打越台をキャンプやバーベキューが出来る場所にするのも1つの案である。災害時の対応はもちろん重要であるが、平常時にも十分に活用できるものを作って欲しい。</p> <p>また、自衛隊の方にキャンプやサバイバル術を教えてもらうような講習などのイベントも開催できれば良い。ノウハウを学びながら楽しめる施設が良い。</p>
多々納委員	<p>1つの施設で色々な事をするには限界がある。グラウンドを撤去して、その跡地全体でキャンプやバーベキューをするイメージなら分かるが、一部のわずかな空間にそういう機能を全部詰め込むことが有効かと言われると難しい。</p> <p>打越台にしてもコンセプトのフォーカスをはっきりさせた方が良い。運動なら運動を中心にするのも良い。ドームを作って、周りのオープンスペースや周遊スペースを作り、そこに災害時でも使えるような設備、例えばかまどベンチをつけるなどして、災害時にも有効な施設とするなど。</p> <p>ただし、整備する施設が防災受援施設であり、具体的なイメージが明確でないため、あまり平常時の具体的な機能を書きすぎて、限定してしまうと受援施設としての整備に影響が出るのではないか。ここでは、屋根がある方が望ましい、広いスペースがある方が望ましいなど、大まかなイメージを記載しておいて、今後の基本計画を策定する際に具体的な議論をしてもらえれば良いのではないか。</p>

山本委員	<p>例えばという形で、3つ4つぐらいの機能やフィーチャー（特色）を書けば良い。具体化するのなら、イベントや多目的施設をという風を書くのが良い。</p>
宗田座長	<p>いずれにしても、打越台グラウンドに関しては老朽化していて、更新の必要性がある。可能であれば、町民だけでなく色々な人、例えば学研地域で働いている方の来場も期待できるような運動施設として再整備する。可能であるならば、全天候の小型ドームの整備についても検討を行うほか、防災的な内容も含まれるようなキャンプや講習も受けられる施設。このような内容については、打越台に関する一つの展望として、合意できると思う。</p> <p>懇話会での検討内容の2施設のイメージについては、少し姿が見えてきたが、ここでもう一度まちづくりの姿に戻って、祝園周辺を含む地域の目標として、「利便性と快適性の優れた住みやすいまちづくり」また、「美しい景観と豊かな歴史文化を活かしたまちづくり」があり、これに一致する防災食育センターの役割というものを考える必要があり、その中に災害時の炊き出し機能と平常時の機能、コミュニティの重要性やその要因としての一人暮らしの増加などを踏まえた内容の記載が必要ではないかと思う。</p> <p>基本理念には、安全・安心と多文化交流とあり、これを一緒にする必要はないが、まず、安全・安心を確保するという役割が1つ、その先にできることは一人暮らしが増えていく状況の中にも交流できる拠点として位置付を行う。あるいは、まちの中での国際的な交流拠点がけいはんなプラザとすると、地域の皆さんやまちで働く人たちが交流する場所がこの祝園という位置付けができれば良い。</p> <p>基本方針の記載内容については、これまでの議論が反映されており、このままの内容で特に異論はないと思う。防災食育センターと打越台に関する議論に関しては前回と今回の懇話会でイメージができていたので、それをもとに再度、記載内容への反映を行えば良いと思う。</p> <p>1点、これまでの議論の内容を踏まえた記載内容の中に、「進出企業の従業員が地域に根づいたり、住民が進出企業に勤めたりするなど、職住近接のまちづくりを進めること。」とあるが、今後のまちづくりの非常に重要なポイントであり、この実現に向けてはやはり交流が重要ではないかと考える。</p>
山本委員	<p>提言書や基本構想の案には、「基本理念」や「基本方針」という言葉でまとめられているが、大上段に構えすぎていて、その後続く「施設整備方針」という具体的な内容との間にギャップを感じる。書かれている内容としては、「基本理念」ではなく、「目指す姿」が良いのではないかと、その中で安全・安心や多文化交流を謳ってはどうか。</p> <p>また、背景や課題を説明しているが、説明などは他にも記載があるので、もう少しシンプルな内容とした方が良い。「基本方針」も同じように、目指す姿の具体的な内容について、4つの柱があるような書き方が良いのではないかと。そして、目指す姿や4つの柱を実現するため、このような施設の整備が必要であるという書き方が分かりやすい。</p>
宗田座長	<p>今、発言された内容は非常に分かりやすい。「基本理念」ではなく「まちの目指す姿」であり、「基本方針」はその姿を実現するために「取り組む課題」、「施設設備方針」ではなく、その課題解決のために「取り組むべき事項」として施設整備を挙げる形とする。そして、「その他の提言事項」で取り上げている内容については、「今後取り組むべき事</p>

	項」というようにまとめる。そうするとこれまでの議論の内容が全て盛り込めると思う。
福味委員	懇話会の中で、まちづくり全体として考えてきた内容と施設整備の具体的な内容とでギャップを感じていたが、今の流れで繋がりが見えたように思う。
多々納委員	目指す姿の大きなテーマとして、「安全・安心と多文化交流による協奏のまちづくり」とあるが、この点についても議論が必要であると思う。
宗田座長	安全・安心は今回のテーマから考えると必要である。多文化交流と協奏についてはどうか。元々融合という言葉も出てきていたと思うが、皆さんの意見をお聞かせいただきたい。
多々納委員	融合というとくっついてしまう。そうではなく、それぞれの立場や役割を果たしながら、それが緩やかに重なっていくというイメージの方が良いのではないかな。そういう意味において、協奏は悪くはないと思う。
宗田座長	学研企業の方たちが望んでいることとして、自分たちの知識や技術を地域に活かしたいという思いがある。また、精華町には自衛隊基地があり、その中には町に住んでおられる方もいて、その方たちにも住民としての交流であったり、学研企業の方との交流であったり、そういった部分が進んで欲しいという考えが、懇話会の中では話題として何度か出てきている。融合なのか、協奏なのか、言葉の使い方はあるが、そこは精華町の大きな課題であることは確かで、災害が起これば、学研、自衛隊、住民と分けるわけではなく、一つの鍋を囲うことになる。
井原委員	安全・安心と二つに分かれているので、「多文化交流、協奏を核とする安全・安心な取り組み」という流れではどうか。「と」となると二つのことが並列してしまう感じがする。
宗田座長	協奏を意識しつつ、安全・安心にも注力するという流れと理解すれば良いのではないかな。防衛省の支援によってこの計画を造ることにより、自衛隊施設の存在がまちづくりを考える上で役割を果たしたということ、そのことを町民の皆さんに理解してもらうことは1つ重要な点である。お互い理解しながら、まちができていくことにつながる。
多々納委員	安全・安心や多文化交流は手段であり、キーワードは協奏のまちづくりである。 協奏の意味するところは、それぞれの人たちが役割を果たす。それが上手く全体に良い感じになっていく。それぞれ違うバックグラウンド、あるいは役割があるにしても、それを基本としながら広域的な交流を進めるためには、どんな役割があるのか、それぞれ互いが互いのことを理解しあう、それを今回のまちづくり構想を通して実現していくことを目指す。安全・安心や多文化交流などコンテンツを書いても良いと思う。キャッチフレーズの下にはその理念の説明を記載すれば良い。 そのあとにミッションを入れる、取り組む課題。これが協奏につながっているのかというと、安全・安心、多文化交流と書いてある。協奏という意味ではこれらがどうなのか、少し足りないかもしれない。ただ、色々と課題がある中で、まずはこれからやりますとい

	<p>うのが2施設。これを整備することでどのような姿を目指すのか。それが書いてあれば良いと思う。協奏のまちづくりはコンセプトとして固定し、そこをベースに進めていくという事で良いのではないかと思う。</p>
<p>宗田座長</p>	<p>協奏のまちづくりが目指すべき姿で、何が協奏かという、新旧住民、学研、防衛省、自衛隊、などそれぞれの人たちの役割を各自が理解することが大切である。また、自衛隊があるということがまちにとっての防災上の重要な要素であると思うし、学研があることは子どもたちの可能性を広げる上で重要なキーワードになる。6ページの基本方針を整理して、まずはそのために取り組む内容として2施設の整備があり、その後、将来的に取り組む内容について記載をするという形でまとめる方向が考えたい。</p> <p>今日の議論でも多くの意見が出たが、若い人や子育て世代が住みたいと思えるような、住民の新陳代謝が起こるまちづくりを目指すことが一番重要である。</p> <p>そのためには集まる場所、都心部分、まちの魅力・景観が美しいことが必要となる。インフラの利便性とまちの魅力を高め、若い人や子育て世代の新陳代謝が起こるようなことを前面に打ち出す。そうすれば農に関心がある人は、周辺に農村部があり、緑地が豊かな光台のようなところに住むだろうし、都心の暮らしが良い人は祝園駅前のタワーマンションに住む。それぞれで新陳代謝が起き、住みたい人はずっと住み続ける。その中で住民が進出企業に勤めることも必要だろうし、コミュニティや交流の場があるとさらに良いまちの形成が進むのではないか。</p> <p>以上で今日の議論を取りまとめたいと思う。では、事務局にお返しする。</p>
<p>事務局 (竹島氏)</p>	<p>今回のまちづくり基本構想策定においては、まちづくりという非常に幅の広いタイトルから、本町の検討している2つの施設に関する議論を行うということで、議論の進め方が難しかったと思うが、皆様の協力により、一定の目処がたったと思う。</p> <p>本日いただいた議論の内容をふまえ、提言書の修正等を行い、委員の皆様へ最終案を提示させていただく予定である。最終のとりまとめについては、宗田座長と調整の上で決定させていただきたいと考えており、ご了承いただきたい。</p> <p>まちづくり構想の今後の予定としては、防災食育センターと防災受援施設、いわゆる打越台グラウンドのより具体的な内容について、来年度に基本計画及び実施計画を策定する中で決定していきたいと考えている。その際には、皆様にもご意見を頂戴したいと思っているので、よろしくお願ひしたい。</p>